

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

佐賀県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
	看護学校、高校生の施設見学と献血の体験	18歳以上の400mL・成分献血可能者	5回開催 参加者200人
	セミナー開催	短大・大学生	10回開催 参加者1,200人

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
	ロゴマーク	献血協賛企業	3社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)390人以上
2	はがきによる献血要請	複数回献血クラブ、アドレス無しの会員	応諾者数(実協力者数)100人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血受付時、推進用資材の作成	400mL献血可能者	献血会場に設置
2	はがきによる献血要請	採血間隔が一年以上で400mL献血可能者	上記③複数回献血者確保対策に含まれる
3	高校献血(卒業献血)	400mL献血可能者	5校以上

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	市町成分献血の日	全市町(特に職員)血小板成分献血の可能者	市町職員150名以上
2	新聞・チラシ折込(直前アピール)	全市町400mL献血の推進	各会場5～10人の400mL献血増

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

長崎県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血者確保キャンペーンの実施	一般及び若年層	年間5回以上のキャンペーンを実施する
2	学生ボランティア研修会の実施	短大、大学生	センター主催で年1回、九州ブロック主催で年3回実施する
3	血液センター見学会の実施	PTA、高等学校	年間2回以上実施、合計参加100人以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規事業所及び掘起し団体の開拓	献血未実施及び献血会場周辺事業所、数年献血を実施していない事業所	月間5社以上の開拓を目標とする

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	メールとはがきによる献血依頼	複数回献血クラブ会員	応諾者数100人以上
2	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数3,000人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる依頼	400mL献血経験者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
2	受付時推進資材の作製	全血献血希望者	移動採血会場に設置
3	事業所等における400mL限定献血の実施	400mL献血可能者	400mL献血率を90%以上とする
4	高校献血における400mL献血受入れ	400mL献血可能者	6校

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	「1,000人献血」キャンペーン	一般及び事業所	2月に3日間実施
2	ライオンズクラブ主催献血	一般及びライオンズクラブ会員、関係者	年間3回以上実施

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

熊本県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
	成人式での献血推進用パンフレット配布	成人式参加者	22,000人
	学内献血キャンペーン	短大・大学・専門学校生	参加2,500人以上、期間中の10、20代献血者構成比35%以上
	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL・血小板成分献血可能者	協力者数500人以上
	ONE STEP イベント	大学生・高校生	大学生主催による高校生への献血セミナーの実施

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
	広報資料(広報誌)の活用	献血協力企業及び団体	全献血会場及び団体へ年4回の配布
	新規事業所及び団体の実施	新規事業所及び団体	年間10社(10団体)程度の確保
	緊急要請可能な事業所の確保	通常時に1稼働70名以上見込める事業所	20社程度
	ロゴマークの配布	献血協力企業及び団体	提供事業所を50社にする。

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)1,000人以上
	はがきによる献血依頼	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)500人以上
	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数(実協力者数)500人以上
	複数回献血キャンペーンの実施	400mL・血小板成分献血者	3,000人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
	はがきによる献血依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
	高校献血における400mL献血の推進	18歳、50kg以上の高校生	6校実施

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
	200mL献血の抑制	固定施設及び移動採血車	需要に応じた採血、月間200名程度に抑制

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

大分県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL献血可能者	協力者数7,500人以上
2	高校献血への増車	18歳以上の400mL献血可能者	協力者数300人以上
3	セミナー等の開催	学生(高校・大学・専門学校等)	6回開催 参加400人
4	ニュードナーキャンペーン	18歳の高校生で初めて400mLや成分献血者	3月の期間中で500人

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体等の確保	献血未実施企業	15社新規登録

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)100人以上
2	はがきによる献血要請	献血(期間)可能者	応諾者数(実協力者数)200人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	はがきによる依頼	400mL献血可能者	上記③複数回献血者確保対策に含まれる
3	高校献血における400mL献血受入れ	高校生・教職員その他400mL献血可能者	15校
4	実施場所(企業・団体)の年間回数・実施時期等の精査	年間に3回実施可能な企業や団体	400mL献血の採血間隔・年間採血量を考慮した献血日程の策定

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	電話、はがきによる献血依頼	成分献血登録者、複数回献血クラブ会員	一日4人を目標に年間1,400人増で19年度目標11,770人を確保する。
2	午前中の血小板成分献血者確保(成分献血記念プラスワンキャンペーン)	血小板成分献血者	
3	新規成分献血者確保(新規成分献血キャンペーン)	全血献血者・初回献血者	

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

宮崎県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18~29歳の400mL献血可能者	協力者数13,800人以上
2	若年者献血キャンペーン(サマー献血キャンペーン)	18~22歳の若者	協力者数200人以上、期間中の10~20代献血者構成比32%
3	(高校・大学・専門学校)における学内献血の推進	18~22歳の若者	学内献血実施を10箇所増加

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施および献血会場周辺企業	新規開拓企業・団体20社
2	成分献血協力団体の拡大	既献血団体及び少人数の企業・団体	10社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)100人以上
2	はがきによる献血依頼	400mL献血・成分献血可能者	複数回協力者数8,500人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	はがきによる献血依頼	400mL献血可能者	上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
3	実施場所(企業・団体)の年間回数、実施時期等の精査	年間3回以上実施場所(企業、団体)	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の決定

⑤その他の具体的対策(①~④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	成分献血協力事業所の推進強化	成分献血協力事業所	140事業所

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

鹿児島県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	九州ブロック学生献血推進サミット(H19年本県が開催県)の開催	短大・大学・専門学校生	1回開催 参加者500人(一般含む)
2	学生献血推進セミナーの開催	短大・大学・専門学校生	2回開催 参加者100人
3	高等学校で18歳を対象とした献血推進の開拓	高校3年生及び教職員	5校新規開拓

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業、団体の確保	特に鹿児島市における未実施企業、団体	新規に15(社)団体
2	献血協賛企業、団体の推進活動	現状の献血団体に対し、普及活動を行う	575社
3	固定施設における事業所献血の拡大	血液センター及び献血ルーム周辺事業所	10(社)団体

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数) 300人以上
2	はがきによる献血要請	前回献血から一定期間空きの献血者	応諾者数(実協力者数) 1,000人以上
3	電話による献血要請	前回献血から一定期間空きの献血者	応諾者数(実協力者数) 1,000人以上
4	献血1稼動あたりの献血者数の増	前回献血から一定期間空きの献血者	1稼動あたり5人増加

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	学内献血の強化	大学、専門学校生	学内献血の底上げ 3校
3	献血団体育成講習会の実施	県内各事業所	鹿児島市ほか2回
4	電話による依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	移動採血の効率的な献血者確保	移動採血における400mL献血可能者	1稼動あたり41人(400mLのみ)

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

沖縄県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	セミナーの開催及び宿泊研修	高等学校・大学・ライオンズクラブ	セミナー15回、1,000人以上
2	はがきによる献血依頼	18～29才までの400mL献血可能者	応諾者3,000人以上
3	若年者献血キャンペーン	18～29才までの若者	はたちの献血キャンペーン中の10～20代の献血者を構成比の40%以上

②献血協賛企業推進対策

No	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	献血協力企業・団体の確保	年1回の献血協力企業及び団体の年2回献血の実施	650社
2	緊急要請可能な待機型団体の確保	運転免許試験場・大型スーパー	10団体

③複数回献血者確保対策

No	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	献血団体、個人に対し前回採血から一定期間未経験者	応諾者数4,000名以上
2	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数100名以上

④400mL献血率増加対策

No	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	団体・企業推進時のパンフレットの製作	献血予定者	推進時に持参
2	はがきによる依頼	400mL献血可能者	複数回献血者確保対策に含まれる
3	団体・企業の年間回数・実施時期の精査	年3回の企業・団体	採血間隔・年間採血量を考慮した日程の策定
4	高校における400mL献血推進	400mL献血可能者	19校